

第1章 日本で開催された国際会議の動向

	はじめに ～ 2022年JNTO国際会議統計の発行に当たって	2頁
	本章で使用する「JNTO国際会議統計」について	4頁
1	年別 国際会議の開催状況（開催件数、参加者数、開催延べ日数）	5頁
2	規模別 国際会議の開催状況①（開催件数、平均外国人参加者数）	6頁
3	規模別 国際会議の開催状況②（中・大型国際会議の開催件数、外国人参加者数）	7頁
4	分野別 国際会議の開催状況（開催件数、外国人参加者数）	8頁
5	月別 国際会議の開催状況①（開催件数）	9頁
6	月別 国際会議の開催状況②（外国人参加者数）	10頁
7	都市別 国際会議の開催状況（参加者数、開催件数）	11頁
8	会場別 国際会議の開催状況（開催件数、参加者数）	12頁

注：「2021年JNTO国際会議統計」で掲載していた「都市別国際会議の開催状況①（参加者数）」は本誌11頁「都市別国際会議の開催状況」に統合した。また、「ハイブリッド国際会議の開催状況」は、今後は対面開催による国際会議の回復が本格的に見込まれることから章を設けての掲載を取りやめ、本誌5頁「年別 国際会議の開催状況」に統合した。

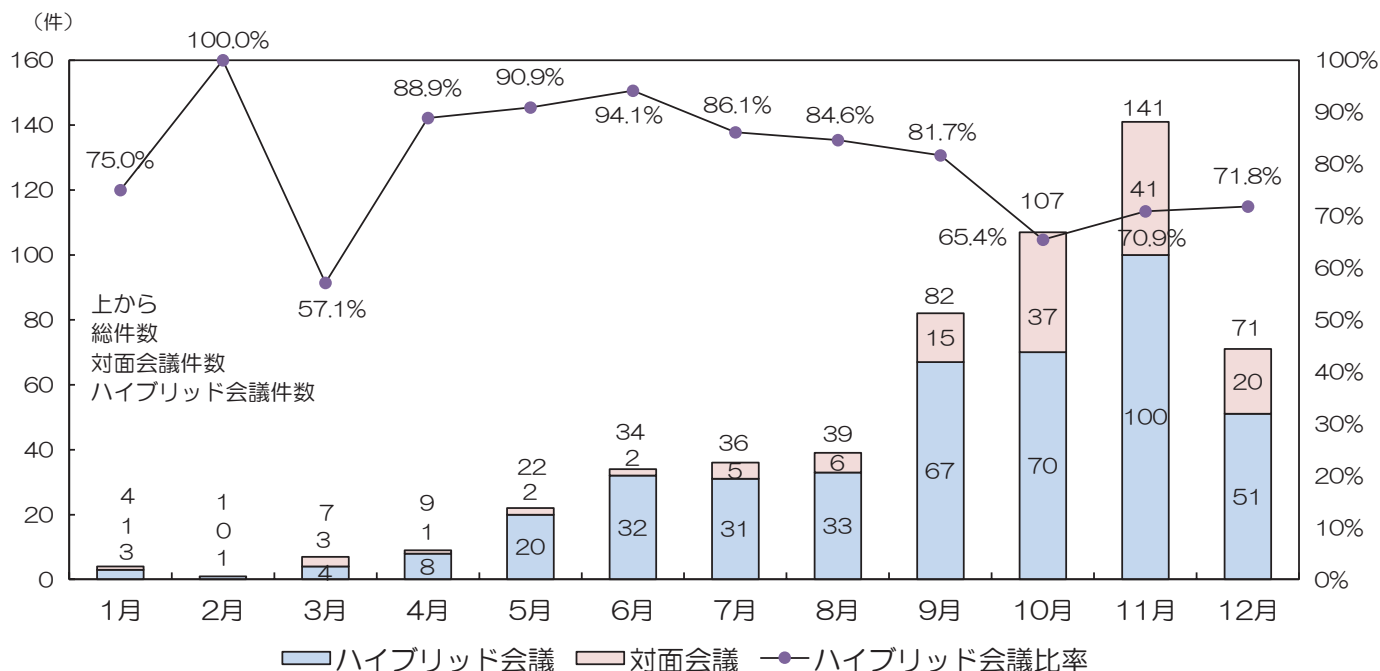
はじめに ～ 2022年JNTO国際会議統計の発行に当たって

2020年以降COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の世界的な拡大・長期化に伴う水際措置や国際的な移動の制約が続いた影響を受け、外国人の会議参加者が日本を訪れることが難しい状況が続いていました。このため、2020年222件、2021年29件と国際会議の開催件数は激減しておりましたが、2022年になると回復の兆しが見られ、開催件数は553件に増加しました。また参加者総数においても2020年の96,271人、2021年の55,221人から回復基調にあり、2022年は前年比約6倍の325,752人に達しました。しかし、国際会議件数は過去最高であった2019年との比較では約6分の1の水準に留まり、特に2022年4月までは日本全国における国際会議開催件数が毎月10件未満となっており(下表)、国際会議の開催が困難な状況となっていたことがわかります。

その後の月別の開催件数では、5月から8月にかけては月に20～40件、9月は82件、10月以降は個人旅行の受け入れや査証免除措置の再開等、日本側の水際措置が緩和されたことにより、10月は107件、11月は141件と徐々に開催件数を増やし、2019年11月の開催件数（484件）と比べると3分の1程度まで回復しました。この結果、2022年に開催された553件の国際会議のうち、約6割に当たる319件の会議が10月以降の3か月間に開催されました。

また、全会議件数(553件)の75.9%にあたる420件がハイブリッド開催となりました。前年2021年のハイブリッド開催件数の比率は72.4%であったことから、COVID-19の影響の長期化を経てハイブリッド形式での国際会議の必要性が高くなっていったことが窺えます。2023年4月末に水際措置が撤廃され、2023年は会議開催件数のさらなる増加が見込まれますところ、JNTOでは引き続き国際会議の開催状況を注視してまいります。

2022年に開催された月別国際会議件数（対面会議、ハイブリッド会議及びハイブリッド会議比率）



注：国際会議が月をまたがって開催されている場合、開催日数が多い月に計上した。また、この場合、開催日が前の月と後の月で同数であれば前の月に計上した。

本章で使用する「JNTO 国際会議統計」について

本章は、日本政府観光局（JNTO）が、関係府省庁、自治体、コンベンション推進機関などのご協力を得て国際会議の開催情報を収集し、そのデータを集計・分析したもので、日本で開催された国際会議の概要を把握する唯一の指標となっています。なお、本章のデータは、以下の選定基準に基づいて集計しています。

国際会議の選定基準

対象とするもの

*以下の①～④を全て満たす国際会議を、「国際会議」とします。

- ①主催者：「国際機関・国際団体（各国支部を含む）」又は「国家機関・国内団体」（各々の定義が明確ではないため、「公共色を帯びていない民間企業」以外は全て。）
- ②参加者総数：50名以上
- ③参加国数：日本を含む3居住国・地域以上
- ④開催期間：1日以上

対象にならないもの

1. 開催目的 主催団体による営利活動や内部活動としての会合や集会
 - 営利活動を目的とするもの
例：企業内会議、商談、勧誘・宣伝活動（投資セミナー、観光セミナー、留学支援セミナー）
 - 主催団体の内部活動
例：教育機関がカリキュラムの一環として行う授業や講義、カルチャースクール等の教育文化活動プログラム、団体内の研修会、宗教団体の儀式・集会・勧誘
2. 開催の様態 会議や講演会の実態がない会合や集会
 - 興行上のサービス
例：コンサート、映画上映会、舞台挨拶 ※付随するトークショーも興行上のサービスとみなします。
 - 単なるセレモニー
例：開会・閉会式、〇〇周年記念式典
 - 上位会議の分科会
例：学会開催時における個別の分科会、大規模フォーラムの個別セッション
 - 単なるイベント
例：展示会、スポーツ大会、国際交流パーティー
3. その他
以下の情報が不足している会議も対象外となります。
 - 「参加国数」、「国内参加者数」、「海外居住外国人参加者数」の内訳（「展示会が主体となっており、その中に組み込まれている会議」においては、展示会全体ではなく会議そのものの上記情報）
 - 一般に公開されているセミナー、シンポジウム、討論会のうち、海外に居住する講師や参加者を招聘・募集したことを示す資料

国際会議参加者の取り扱い

- 外国人参加者数には、国際会議の出席を目的に来日した会議代表、オブザーバー、同伴家族を含みます。但し、報道関係者、在日外国人（留学生を含む）は含みません。

国際会議開催日数の取り扱い

- 国際会議開催日数には、会議の前後または合間の日に開催されるレセプション、視察旅行、観光旅行を含めず、純粋な会議日数のみを計上しています。（但し2012年～2014年は会議の前後または合間の日に開催されるレセプション、視察旅行、観光旅行を含めて計上しています。）

1

年別 国際会議の開催状況（開催件数、参加者数、開催延べ日数）

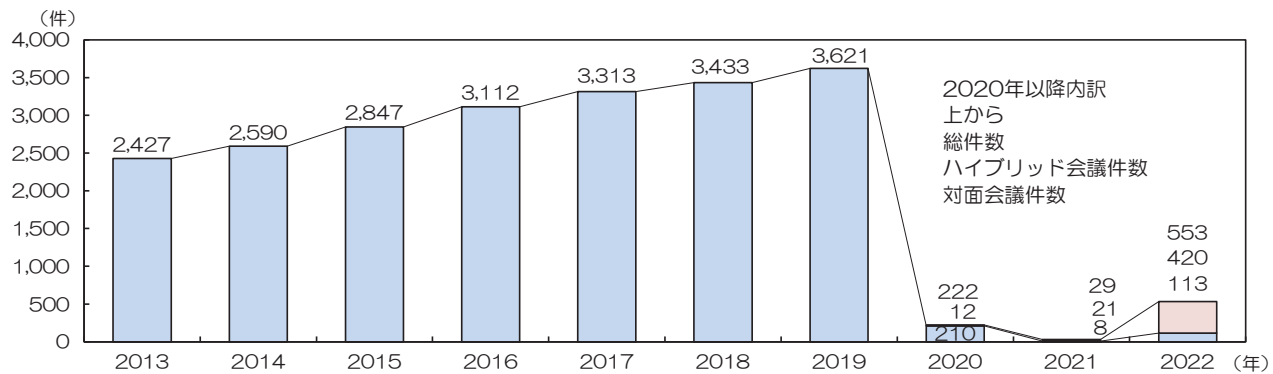
－ 前年より回復傾向も、2019年比では件数・参加者数とも15%前後 －

2022年に日本で開催された国際会議の件数は、553件とCOVID-19の拡大以降国際的な移動の制約が続いたことにより激減した、2020年の222件、2021年の29件から回復基調にあるが、2019年比では15.3%に留まった。対面とオンラインを併用したハイブリッド国際会議の開催件数は前年の21件から420件とその件数を増やし、シェアは72.4%から75.9%へ増加した。参加者総数は2021年と比べると約6倍の325,752人、外国人参加者（海

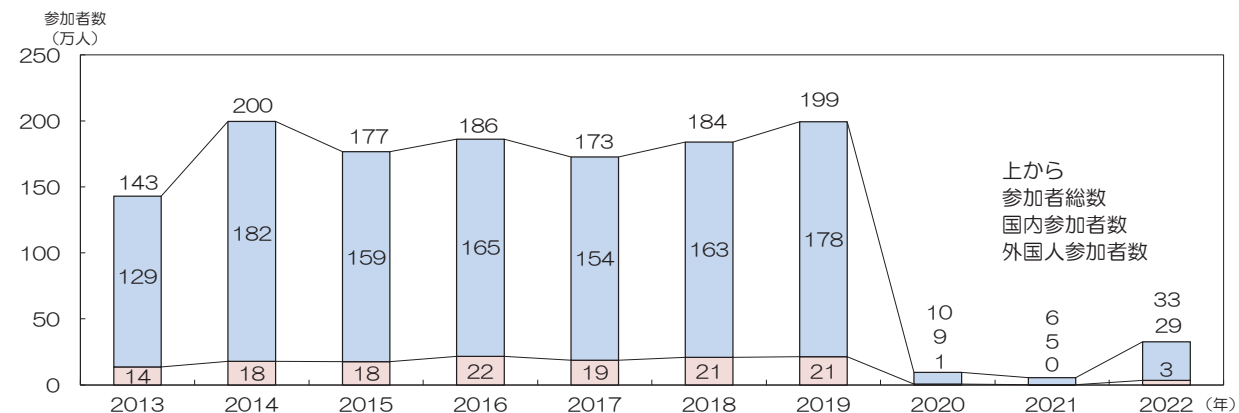
外居住者）数も約45倍の33,787人となったが、2019年比では、参加者数は16.3%、外国人参加者数では15.8%と低い水準のままである。

国際会議の開催延べ日数は1,740日で2019年比では21.0%に留まる一方、1件あたりの平均開催日数は前年より0.15日増、2019年と比べると0.86日増の3.15日と、2019年以前と比較すると長い傾向が見られる。

図表1-1 年別 国際会議の開催件数及びハイブリッド会議開催件数（2013年～2022年）

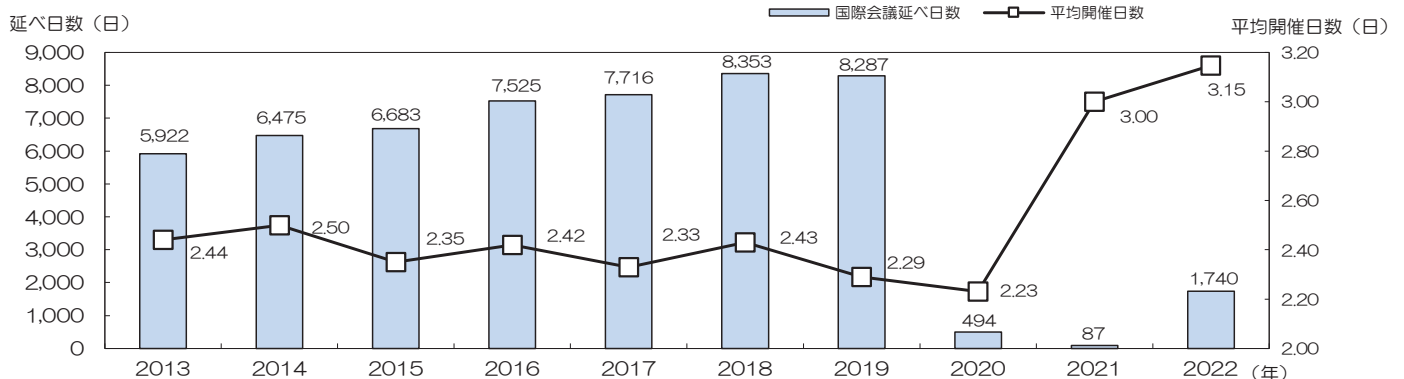


図表1-2 年別 国際会議の参加者数（2013年～2022年）



	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
参加者総数	1,428,592	1,995,336	1,766,798	1,862,020	1,725,927	1,839,694	1,993,790	96,271	55,221	325,752
国内参加者数	1,292,039	1,816,603	1,591,765	1,645,998	1,539,279	1,630,097	1,780,396	89,668	54,471	291,965
外国人参加者数	136,553	178,733	175,033	216,022	186,648	209,597	213,394	6,603	750	33,787

図表1-3 年別 国際会議の開催延べ日数、平均開催日数（2013年～2022年）



〔図表1-2〕注：会議以外の要素が含まれている国際会議（展示会主体の併設会議など）に関しては、会議部分の参加者数を計上している。

2

規模別 国際会議の開催状況① (開催件数、平均外国人参加者数)

－ 規模別の構成比、平均外国人参加者数が2019年の傾向に戻る －

2022年に開催された国際会議を規模別に見ると、300人未満の小規模会議の開催件数が6割超を占め、2019年の傾向に近づいた。また、3000人以上の会議は全体の5%を占める結果となった。

全会議件数における会議1件あたりの平均外国人参加者数は61.1人で、2021年の25.9人より大幅に増え、2019年の58.9人を僅かに上回る結果となった。

図表1-4 規模別 国際会議の開催件数(2013年~2022年)、平均外国人参加者数(2022年)

参加者総数	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2022年 1件あたりの平均 外国人参加者数
100人未満	648	694	850	980	1,170	1,176	1,302	88	4	168	17.8
100~199人	721	726	743	813	859	834	912	60	4	130	37.8
200~299人	300	358	334	389	380	386	364	22	4	58	59.6
300~399人	172	180	184	203	181	216	217	14	2	43	69.4
400~499人	92	100	114	116	109	121	116	5	1	22	52.1
500~799人	155	158	196	203	176	220	232	12	4	43	117.3
800~999人	62	44	64	61	64	79	73	3	1	13	210.8
1000~1499人	76	88	83	88	127	138	117	7	2	23	52.9
1500~1999人	42	50	61	55	51	53	76	0	2	10	30.9
2000~2999人	52	48	71	63	63	82	75	6	1	15	33.2
3000~4999人	45	51	71	58	60	54	60	3	3	20	291.7
5000~9999人	48	59	61	60	60	59	60	1	0	7	366.1
10000人以上	14	34	15	23	13	15	17	1	1	1	90.0
合計	2,427	2,590	2,847	3,112	3,313	3,433	3,621	222	29	553	61.1

(件)

図表1-5 規模別 国際会議の開催件数 構成比(2013年~2022年)

参加者総数	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
100人未満	26.7	26.8	29.9	31.5	35.3	34.3	36.0	39.6	13.8	30.4
100~199人	29.7	28.0	26.1	26.1	25.9	24.3	25.2	27.0	13.8	23.5
200~299人	12.4	13.8	11.7	12.5	11.5	11.2	10.1	9.9	13.8	10.5
300~399人	7.1	6.9	6.5	6.5	5.5	6.3	6.0	6.3	6.9	7.8
400~499人	3.8	3.9	4.0	3.7	3.3	3.5	3.2	2.3	3.4	4.0
500~799人	6.4	6.1	6.9	6.5	5.3	6.4	6.4	5.4	13.8	7.8
800~999人	2.6	1.7	2.2	2.0	1.9	2.3	2.0	1.4	3.4	2.4
1000~1499人	3.1	3.4	2.9	2.8	3.8	4.0	3.2	3.2	6.9	4.2
1500~1999人	1.7	1.9	2.1	1.8	1.5	1.5	2.1	0.0	6.9	1.8
2000~2999人	2.1	1.9	2.5	2.0	1.9	2.4	2.1	2.7	3.4	2.7
3000~4999人	1.9	2.0	2.5	1.9	1.8	1.6	1.7	1.4	10.3	3.6
5000~9999人	2.0	2.3	2.1	1.9	1.8	1.7	1.7	0.5	0.0	1.3
10000人以上	0.6	1.3	0.5	0.7	0.4	0.4	0.5	0.5	3.4	0.2

(%)

[図表1-4の平均外国人参加者数] 注：会議以外の要素が含まれている国際会議（展示会主体の併設会議など）に関しては、会議部分の参加者数を計上している。

[図表1-5] 注：構成比は四捨五入して小数点1位までを表示しているため、各構成比の合計は必ずしも100にはならない。

3

規模別 国際会議の開催状況② (中・大型国際会議の開催件数、外国人参加者数)

— 中・大型国際会議の外国人参加者数が6割超を占有 —

2022年の中・大型国際会議※の開催件数は前年の2件から大幅増の84件となり、回復基調にあるが、2019年比では17.8%と低い水準となった。また中・大型国際会議の外国人参加者数は前年比約66倍の20,918人で、2019年比では15.9%と依然として低い水

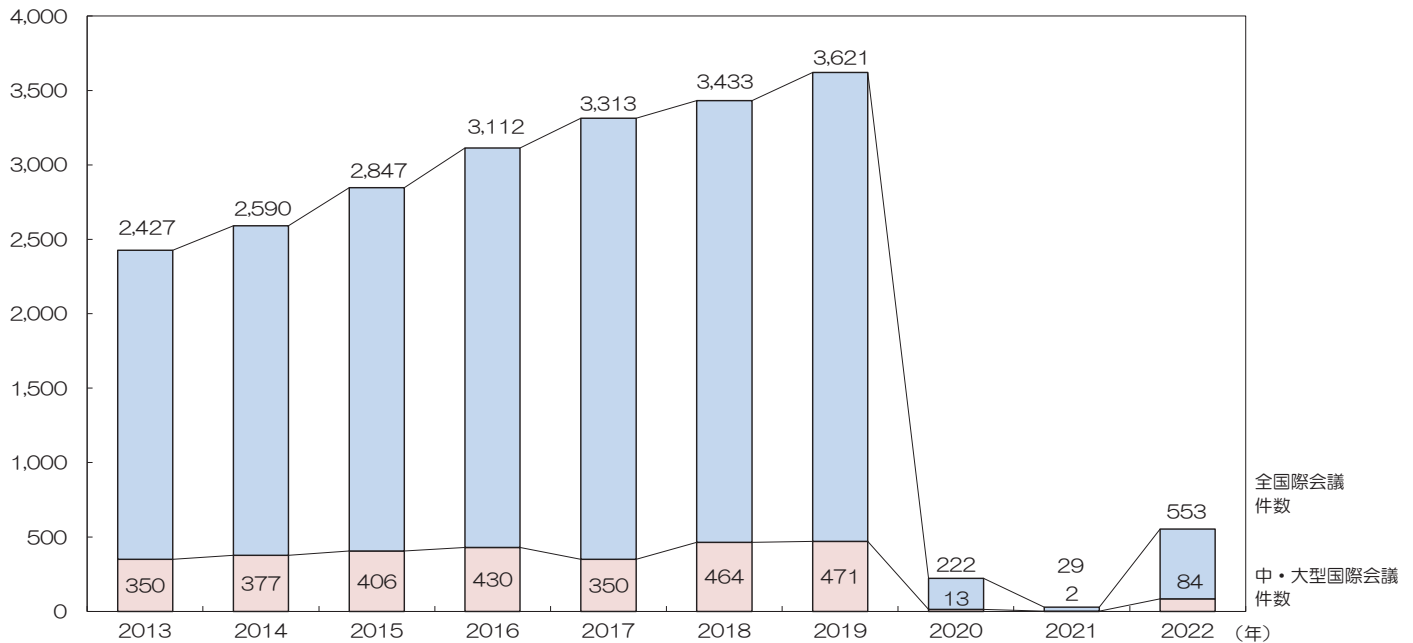
準ではあるものの回復途上にあることが分かる。

中・大型国際会議は2022年の全件数に占める割合は15.2%であるのに対し、2022年の外国人参加者数では61.9%を占めており、引き続き外国人参加比率が高い傾向がみられる。

※中・大型国際会議：外国人参加者数50人以上、および、参加者総数300人以上の会議

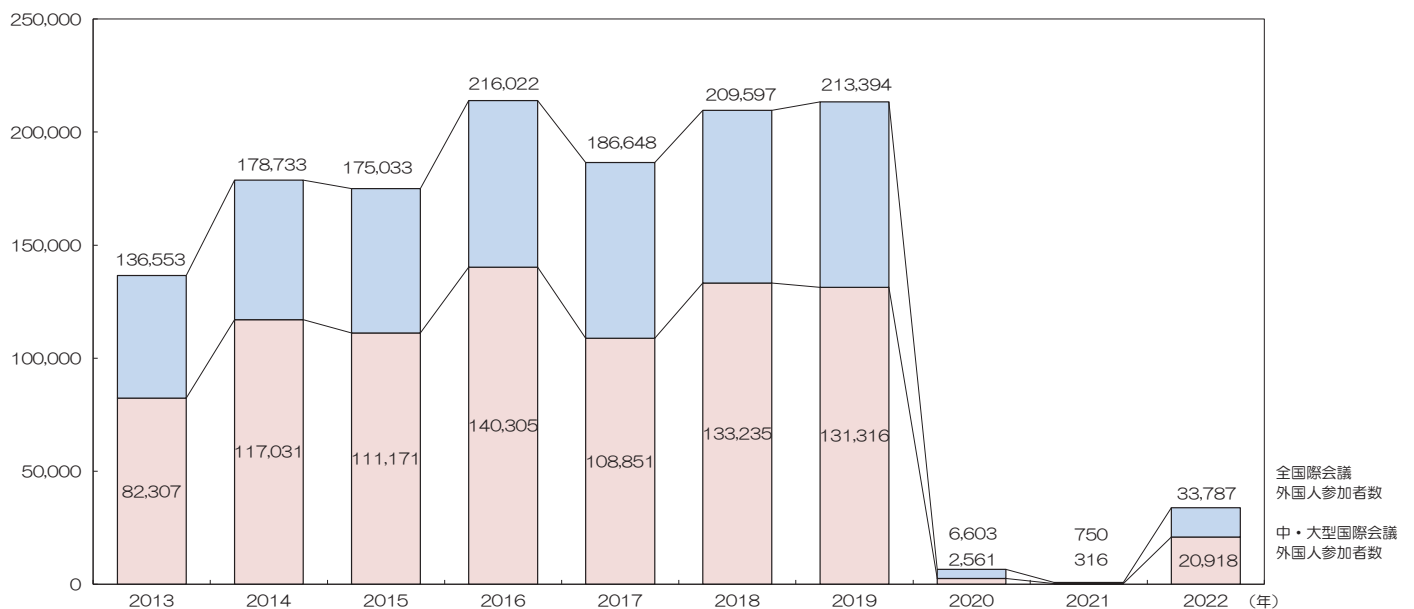
図表1-6 国際会議の開催件数と中・大型国際会議の開催件数(2013年~2022年)

開催件数(件)



図表1-7 国際会議の外国人参加者数と中・大型国際会議の外国人参加者数(2013~2022年)

外国人参加者数(人)



[図表1-6、1-7] 注：会議以外の要素が含まれている国際会議(展示会主体の併設会議など)に関しては、会議部分の参加者数を計上している。

4

分野別 国際会議の開催状況（開催件数、外国人参加者数）

— 「科学・技術・自然」と「医学」の2分野で7割超 —

分野別の国際会議の開催件数、構成比をみると、2022年は「科学・技術・自然」が281件（50.8%）と最も多く、次いで「医学」が124件（22.4%）で、この2分野で全体の7割超を占めた。外国人参加者数でも、「科学・技術・自然」が18,474

人と最も多く、「医学」（5,713人）との2分野で7割を超えた。「社会」は開催件数では23件（4.2%）となっているが、外国人参加人数では3,409人と全体の1割を占めるなど、規模の大きな会議が開催されていることが窺える。

図表1-8 分野別 国際会議の開催件数（2013年～2022年）、構成比（2022年）

※2022年は上段：件数、下段：構成比（%）

分野	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
政治・経済・法律	285	291	249	316	361	378	435	25	1	38 (6.9)
科学・技術・自然	1,077	1,085	1,222	1,421	1,415	1,395	1,507	108	11	281 (50.8)
医学	480	482	546	577	589	702	631	39	13	124 (22.4)
産業	119	159	128	119	124	165	163	5	0	27 (4.9)
芸術・文化・教育	253	344	337	344	396	446	481	20	1	35 (6.3)
社会	93	111	193	184	260	204	210	13	3	23 (4.2)
運輸・観光	20	19	24	14	34	28	33	4	0	5 (0.9)
社交・親善	37	47	70	72	46	47	32	2	0	2 (0.4)
宗教	4	4	7	8	9	6	11	0	0	1 (0.2)
スポーツ	8	6	19	17	29	20	37	0	0	1 (0.2)
その他	51	42	52	40	50	42	81	6	0	16 (2.9)
合計	2,427	2,590	2,847	3,112	3,313	3,433	3,621	222	29	553

図表1-9 分野別 国際会議の外国人参加者数（2013年～2022年）、構成比（2022年）

※2022年は上段：外国人参加者数、下段：構成比（%）

分野	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
政治・経済・法律	13,454	18,964	13,472	17,803	22,547	28,255	24,403	541	250	2,608 (7.7)
科学・技術・自然	63,144	71,019	79,113	80,796	75,682	90,335	93,490	3,970	262	18,474 (54.7)
医学	30,323	43,734	35,012	48,404	40,246	43,586	35,735	481	187	5,713 (16.9)
産業	8,836	12,051	11,072	13,138	9,421	13,447	12,741	117	0	961 (2.8)
芸術・文化・教育	10,698	18,941	20,186	25,938	21,081	17,436	20,184	990	2	1,535 (4.5)
社会	5,406	6,986	6,328	7,388	8,329	5,849	5,684	242	49	3,409 (10.1)
運輸・観光	1,035	1,115	2,210	993	1,811	954	2,270	88	0	325 (1.0)
社交・親善	938	1,930	2,253	16,653	1,296	4,784	3,463	5	0	80 (0.2)
宗教	27	234	172	922	533	562	2,760	0	0	10 (0.0)
スポーツ	689	1,159	906	1,920	1,373	2,559	3,808	0	0	3 (0.0)
その他	2,003	2,600	4,309	2,067	4,329	1,830	8,856	169	0	669 (2.0)
合計	136,553	178,733	175,033	216,022	186,648	209,597	213,394	6,603	750	33,787

〔図表1-8〕 注：構成比は四捨五入し小数点1位までを表示しているため、各構成比の合計は必ずしも100にはならない。

〔図表1-9〕 注：会議以外の要素が含まれている国際会議（展示会主体の併設会議など）に関しては、会議部分の参加者数を計上している。

5

月別 国際会議の開催状況 ① (開催件数)

— 5月以降回復傾向、水際規制緩和後の3か月間で年間の6割を占める—

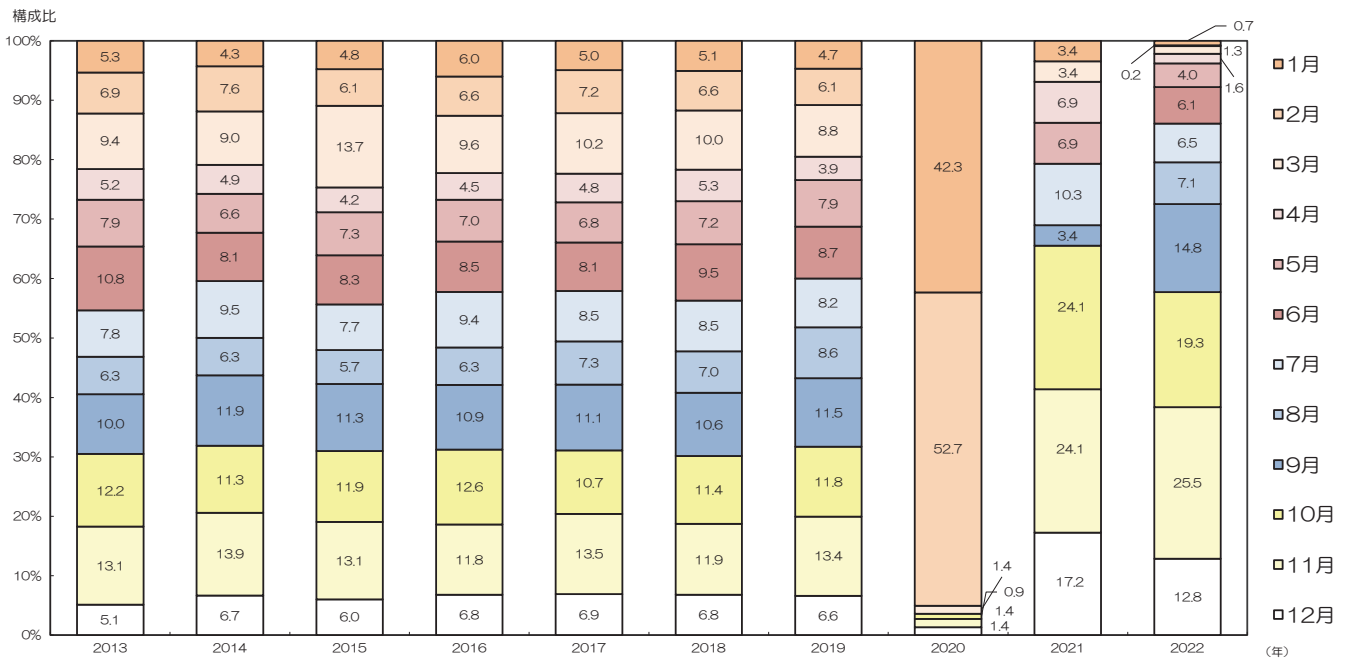
2022年の国際会議はCOVID-19の影響もあり1~4月は各月1桁台の開催に留まった。5月に22件開催され、6~8月は30件

台で推移し、9月以降に倍増、11月は年間最高の141件となった。10月の水際規制緩和以降の3か月間で年間の57.7%を占めた。

図表1-10 月別 国際会議の開催件数 (2013年~2022年)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1月	129	111	136	187	164	174	169	94	1	4
2月	167	197	175	205	239	228	221	117	0	1
3月	227	233	391	300	338	342	317	3	1	7
4月	126	126	119	140	159	183	141	0	2	9
5月	191	170	207	219	224	248	285	0	2	22
6月	261	210	235	264	270	326	315	0	0	34
7月	190	247	218	291	281	292	297	0	3	36
8月	153	163	163	196	241	241	311	0	0	39
9月	243	308	321	338	368	364	416	0	1	82
10月	297	292	339	393	354	392	426	2	7	107
11月	319	360	372	367	446	410	484	3	7	141
12月	124	173	171	212	229	233	239	3	5	71
合計	2,427	2,590	2,847	3,112	3,313	3,433	3,621	222	29	553

図表1-11 月別 国際会議の開催件数の構成比 (2013年~2022年)



〔図表1-10、1-11〕 注：国際会議が月をまたがって開催されている場合、開催日数が多い月に計上した。また、この場合、開催日が前の月と後の月で同数であれば前の月に計上した。

〔図表1-11〕 注：構成比は四捨五入して小数点1位までを表示しているため、各構成比の合計は必ずしも100にはならない。

6

月別 国際会議の開催状況 ② (外国人参加者数)

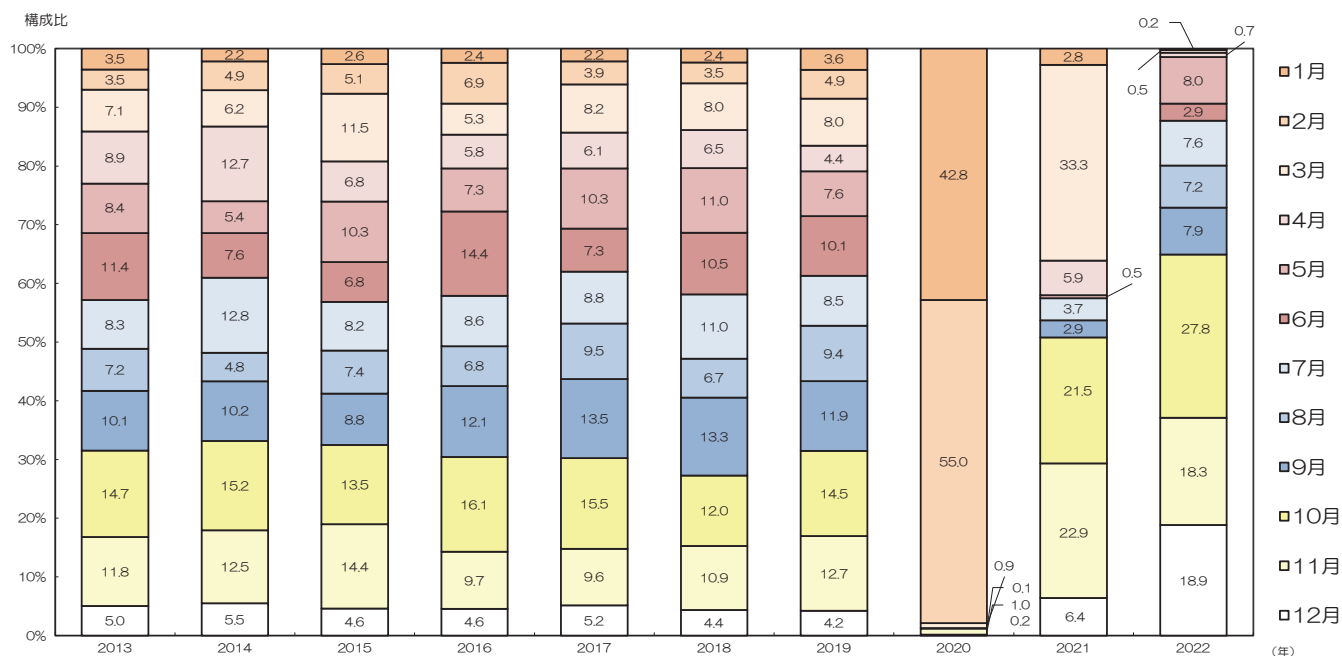
－ 10月以降の3か月間で65%を占める －

2022年の国際会議の月別の外国人参加者数は、5月以降に回復の傾向をみせ、10月が年間最高の9,403人となった。構成比では10月以降の3か月間で64.9%を占めた。12月のみで比較すると2019年比では7割まで回復した。

図表1-12 月別 国際会議の外国人参加者数 (2013年~2022年)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1月	4,846	3,923	4,560	5,242	4,094	4,957	7,745	2,828	21	52
2月	4,730	8,745	8,886	15,004	7,288	7,375	10,398	3,633	0	12
3月	9,724	11,083	20,174	11,399	15,360	16,757	17,131	57	250	176
4月	12,117	22,777	11,968	12,458	11,368	13,619	9,376	0	44	245
5月	11,452	9,618	18,052	15,842	19,179	23,038	16,285	0	4	2,688
6月	15,624	13,603	11,944	31,085	13,653	21,982	21,627	0	0	974
7月	11,371	22,887	14,410	18,515	16,424	22,963	18,194	0	28	2,577
8月	9,810	8,658	12,873	14,660	17,702	13,961	20,055	0	0	2,436
9月	13,859	18,153	15,331	26,116	25,175	27,839	25,455	0	22	2,686
10月	20,069	27,178	23,646	34,812	28,846	25,078	30,967	7	161	9,403
11月	16,064	22,315	25,148	21,055	17,932	22,861	27,116	67	172	6,169
12月	6,887	9,793	8,041	9,834	9,627	9,167	9,045	11	48	6,369
合計	136,553	178,733	175,033	216,022	186,648	209,597	213,394	6,603	750	33,787

図表1-13 月別 国際会議の外国人参加者数の構成比 (2013年~2022年)



[図表1-12、1-13] 注：会議以外の要素が含まれている国際会議（展示会主体の併設会議など）に関しては、会議部分の参加者数を計上している。

[図表1-12、1-13] 注：国際会議が月をまたがって開催されている場合、開催日数が多い月に計上した。また、この場合、開催日が前の月と後の月で同数であれば前の月に計上した。

[図表1-13] 注：構成比は四捨五入して小数点1位までを表示しているため、各構成比の合計は必ずしも100にはならない。

7

都市別 国際会議の開催状況（参加者数、開催件数）

—東京(23区)、京都市、札幌市で外国人参加者数・件数とも2019年比約2割まで回復—

2022年の都市別外国人参加者数は東京(23区)(8,174人)、京都市(7,747人)の2都市が他の都市を大きく引き離し、続く横浜市、堺市は2,000人超であった。参加者総数では東京(23区)(62,196人)、横浜市(54,558人)、福岡市(40,222人)の順であった。(都市別の参加者数詳細は「資料編1」参照)

外国人参加比率を見ると、大阪市(37.6%)、堺市(22.3%)、京都市(20.8%)と関西の3都市が20%超えとなった。

また、都市別の開催件数では10件以上開催の都市が12にのぼり、COVID-19の影響を受けた2020年、2021年と比較して回復が見られる。

図表1-14 都市別 国際会議の開催状況（2019年～2022年）〈2022年の外国人参加者数上位10都市を抜粋〉

開催都市	2019年		2020年		2021年		2022年		2022年 外国人参加比率 (%)
	外国人 参加者数	参加者 総数	外国人 参加者数	参加者 総数	外国人 参加者数	参加者 総数	外国人 参加者数	参加者 総数	
東京(23区)	42,398	308,276	1,620	15,544	110	29,196	8,174	62,196	13.1%
京都市	30,585	190,834	562	29,716	349	1,046	7,747	37,293	20.8%
横浜市	27,919	303,767	555	19,882	110	22,837	2,434	54,558	4.5%
堺市	404	505	-	-	-	-	2,200	9,858	22.3%
神戸市	15,641	158,094	302	6,567	42	318	1,399	18,960	7.4%
札幌市	8,218	51,090	73	142	-	-	1,343	13,023	10.3%
福岡市	11,590	119,340	401	4,806	-	-	1,324	40,222	3.3%
大阪市	11,060	149,117	374	2,512	-	-	1,108	2,945	37.6%
名古屋市	9,646	192,416	140	730	-	-	999	10,544	9.5%
仙台市	4,582	69,227	242	2,483	1	568	865	9,454	9.1%

図表1-15 都市別 国際会議の開催件数（2013年～2022年）〈2022年の開催件数10件以上を抜粋〉

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
東京(23区)	531	543	557	574	608	645	561	63	3	134
京都市	176	202	218	278	306	348	383	26	4	70
横浜市	226	200	190	188	176	156	277	9	13	44
福岡市	253	336	363	383	296	293	313	15	0	33
仙台市	77	80	221	115	120	116	136	10	1	23
札幌市	89	101	107	115	116	109	102	2	0	23
名古屋市	143	163	178	200	183	202	252	9	0	21
神戸市	93	82	113	260	405	419	438	23	1	19
広島市	50	50	59	76	87	74	72	2	0	12
大阪市	172	130	139	180	139	152	204	9	0	11
つくば地区(注)	51	66	53	50	47	42	54	4	0	11
北九州市	57	73	86	105	134	133	150	6	2	10

〔図表1-14〕注：1つの国際会議が複数の都市にまたがって開催された場合、参加者数（外国人参加者数、参加者総数）は原則的に各都市で参加した人数を計上している。

〔図表1-15〕注：1つの国際会議が複数の都市にまたがって開催された場合、開催件数は各都市で1件ずつ計上している。

〔図表1-15〕注：「つくば地区」は、つくば市、土浦市を含む。

8

会場別 国際会議の開催状況（開催件数、参加者数）

— 開催件数、参加者総数ともパシフィコ横浜が1位 —

会場別での開催件数は、パシフィコ横浜（30件）、国立京都国際会館（19件）、福岡国際会議場（16件）と国際会議場が上位4会場中3会場を占めた。大学では上位10位のうち、京都大学（20件）、東北大学（13件）、九州大学（11件）、東京大学（10件）、名古屋大学（10件）、北海道大学（9件）、慶應義塾大学（9件）と7大学

が占めた。

参加者総数ではパシフィコ横浜が5万人超え。以下福岡国際会議場、東京ビッグサイトと続いた。外国人参加者数及び1件当たりの平均外国人参加者数では国立京都国際会館、ザ・プリンス宝ヶ池が他の施設を大きく上回った。

図表1-16 会場別 国際会議の開催件数、参加者数（2022年）〈開催件数5件以上の会場〉

会場名	開催件数	参加者総数	外国人参加者数	外国人比率 (%)	1件当たりの平均参加者総数	1件当たりの平均外国人参加者数
パシフィコ横浜	30	50,701	1,690	3.3	1,690	56
京都大学	20	3,536	965	27.3	177	48
国立京都国際会館	19	22,756	5,856	25.7	1,198	308
福岡国際会議場	16	30,424	845	2.8	1,902	53
東北大学	13	4,885	355	7.3	376	27
九州大学	11	2,464	132	5.4	224	12
名古屋大学	10	1,784	268	15.0	178	27
つくば国際会議場	10	1,666	259	15.5	167	26
東京大学	10	1,525	875	57.4	153	88
神戸国際会議場	9	15,384	522	3.4	1,709	58
仙台国際センター	9	4,509	546	12.1	501	61
北海道大学	9	1,303	318	24.4	145	35
慶應義塾大学	9	1,018	119	11.7	113	13
島根県立産業交流会館（くにびきメッセ）	9	972	163	16.8	108	18
東京ビッグサイト	8	24,178	205	0.8	3,022	26
幕張メッセ	8	19,750	286	1.4	2,469	36
札幌コンベンションセンター	7	8,764	537	6.1	1,252	77
千里ライフサイエンスセンター	7	3,641	301	8.3	520	43
北九州国際会議場	7	2,198	586	26.7	314	84
国連大学	7	865	194	22.4	124	28
神戸国際展示場	6	16,455	243	1.5	2,743	41
東京国際フォーラム	6	10,465	1,737	16.6	1,744	290
神戸ポートピアホテル	6	9,339	714	7.6	1,557	119
大阪府立国際会議場	6	1,944	809	41.6	324	135
同志社大学	6	1,179	187	15.9	197	31
奈良春日野国際フォーラム	6	1,068	342	32.0	178	57
淡路夢舞台国際会議場	6	670	370	55.2	112	62
マリノメッセ福岡	5	20,604	230	1.1	4,121	46
ザ・プリンス京都宝ヶ池	5	9,057	3,581	39.5	1,811	716
金沢市文化ホール	5	1,784	212	11.9	357	42
帝国ホテル	5	1,269	459	36.2	254	92
富山国際会議場	5	978	128	13.1	196	26
早稲田大学	5	669	139	20.8	134	28

注1：本表では、複数会場を利用して開かれた同一会議は、会場をベースに集計してある。

注2：本表では、大学等の付属施設は大学での開催件数に含めている。また、複数都市にキャンパスがまたがる場合は、まとめて計上している。

注3：会議以外の要素が含まれている国際会議（展示会主体の併設会議など）に関しては、会議部分の参加者数を計上している。